

中国の草の根の労働組織：珠江デルタと長江デルタ地域の比較

Chun-Yi Lee,
英国ノッティンガム大学

Labour Now

19 July 2014

本資料の一部は、アンドレアス・ベイラーとの共著である下記の論文から抜き出したものである。

Exploitations and Resistances: A Comparative Analysis of the Chinese Cheap Labour Electronics and High-Value Added IT Sectors

搾取と抵抗 - 中国の低賃金労働電子機器セクター、高付加価値ITセクターの比較分析

珠江デルタ (PRD) と 揚子江デルタ (YRD)

google mapより



中国全土での労働争議を地図で示す

- 中国ストライキ地図: マンフレッド・エルフストロム (米コーネル大学博士課程学生) が作成したこの地図は、中国でのストライキ発生状況について、他に例のない情報源となっている。

<https://chinastrikes.crowdmap.com>

- 2008年1月から2013年4月までの間、珠江デルタでは310件、揚子江デルタでは154件のストライキが発生している。ストライキはこの2地域に最も集中している。

理由と研究方法

理由

- 地域差:

中国では地域差、地域間不平等が大きい。

- 生産タイプの違い:

珠江デルタと揚子江デルタでは、生産タイプが異なる。
なぜ生産タイプの違いに注目するか？

研究方法:

2011年9月から2014年4月にかけて、珠江デルタ(PRD)と揚子江デルタ(YRD)の労働NGOを訪問、聞き取りを行った。PRDでは10あまりのNGOを、YRDでは2つのNGOを訪問。

中国におけるNGOの一般的背景

- 中国におけるNGO発展の背景
ダブル・フィルター システム:
1989年10月から施行。(民政部通知43号)
広東省では2012年7月に部分的に廃止。
- NGOと呼べるか?
欧米の概念では、NGO・非政府組織とは政府の組織でなく、非営利であるもの。
しかし、中国のNGOは'中国的性格'を持つ。
 - a. GONGO: 政府(Government)が組織するNGO
 - b. 非営利か?

異なるタイプのNGO

- 法的位置づけ:
 - a. 明確な法的位置づけを持つ組織と協働
 - b. 自営企業として登録
 - c. 潜伏して、ブラックリストに載る
- 創設者はどのような人か:
 - a. 問題意識を持った知的専門職
 - b. 労働者出身
- 設立の資源(資金等)提供者:
 - a. 政府: GONGOの場合
 - b. 外国の財団
- 労働NGOの活動:
 - a. コミュニティに基盤をおくアプローチ
 - b. 事業介入アプローチ

珠江デルタ(PRD)と揚子江デルタ(YRD)の労働NGO

- 設立資源の提供者が異なる:

PRD: ほとんどが世銀、フォード財団、オックスファム、オスロ大学等々の外国の財団によって設立されている。

YRD: 多くが政府の資金提供を受けている。

- 姿勢の違い:

PRD: より戦闘的、労働者の運動という意識を持つが、NGOのタイプもより多様。

YRD: 政府と協力、政府のプロジェクトで活動。

違いが起こる理由として考えられること

- 発展時期の違い:

珠江デルタ(PRD)は先に発展したため、統治のタイプがより自由・放任。

揚子江デルタ(YRD)は後から発展したため、統治のタイプは規制をかけがち。

- (電子機器産業における)生産タイプの違い:

珠江デルタ(PRD): 加工業、低付加価値生産

揚子江デルタ(YRD): 研究開発の発展可能性やより良質な人的資本がある。

- 資本のタイプの違い

珠江デルタ(PRD)は外資、特に香港、台湾、日本などアジア諸国からの資本が多い。

揚子江デルタ(YRD)は国内資本が多い。

結論

- ・揚子江デルタ(YRD)に比して、珠江デルタ(PRD)の労働NGOは、より戦闘的で、労働者の根本的な権利を提唱する。
- ・珠江デルタ(PRD)と揚子江デルタ(YRD)の労働NGOのタイプの違いについて、これまでは、統治タイプの違いに焦点をあてた説明がなされてきた。
- ・我々の研究では、生産タイプの違いがより決定的な要素となって、両地域の違いが起こっていることを強調した。したがって、我々の分析観点で焦点となるのは、社会関係の明確化である。

ありがとうございました。コメント
歓迎!

chun-yi.lee@nottingham.ac.uk